

きょうのきょうどう

今日の協働

砂川市市長公課防災対策係



～東雲町内会自主防災組織 救急救命講習～

8月4日、東雲町内会自主防災組織で救急救命講習が行われました。2020年以来の実施となった今回の講習に、13名の方が集まりました。

砂川消防署から救急係の方を講師として招き、心臓マッサージのやり方や AED の使い方などについて学びました。講習の後半では、参加された方一人一人が心臓マッサージや、周囲の人への指示、AED の準備など、救急救命の一連の動きを実際に体験しました。



参加した女の子に感想を聞くと「手を当てるところや、AED のシールを貼るところが難しかった。今度人が倒れていたりしたら自分で頑張ってやってみたい」と話してくれました。講習の冒頭、講師の方からは「令和5年の緊急出動件数は過去最大となった。去年は熱中症の疑いかなり多く、例年の3倍だった」というお話がありました。近年は北海道も気温が30度を超えるなど、非常に危険な暑さとなっています。いつ自分が救急救命の場に出くわすかわかりません。いざというときに「自分で頑張ってやってみたい」と思えるように、今回のような講習や訓練に積極的に取り組むことが大切になるのではないのでしょうか。